

# 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

若年者自然気胸に対する手術における自動縫合器使用の有無による再発率の違いに関する後方視的検討

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月1日から2022年12月31日に昭和大学横浜市北部病院呼吸器センターで気胸の手術を行った25歳以下の男性の患者さん

## 2. 研究目的・方法

自然気胸は肺表面にできた肺嚢胞の破裂により肺から空気が漏れ、胸の中に溜まった空気が肺を押しつぶすことにより生じることが多く、空気漏れが止まらない場合や気胸を繰り返す場合など手術が勧められます。以前は、気胸の手術は胸を大きく開けて、針と糸を用いて手術が行われていましたが、現在は、胸腔鏡というカメラを用いて、自動縫合器という、肺を縫うのと切るのを同時に行う器械を用いて手術が行われます。しかし、若年者の気胸、特に25歳以下の男性において術後の再発率が高いことが問題視されており、その原因として、自動縫合器による手術が一因とも考えられています。

自動縫合器を使用した手術と使用しなかった手術の再発率を検討することで、より再発率の低い手術を実現することを目的に研究を行います。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、気胸の左右、入院日、術式、手術日、手術時間、手術時の出血量、再発日、再発時の治療

## 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

**6 . 研究組織**

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター 鈴木 浩介

**7 . お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター 氏名：鈴木 浩介

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号： 045-949-7257